

熊本高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	国語III
科目基礎情報					
科目番号	0026		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	共通教育科 (八代)		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	「パスポート国語必携」(桐原書店)、「論理力ワークノート」(第一学習社)				
担当教員	道園 達也				
到達目標					
<p>①多方面の評論的文章を正確に読解する方法を理解することができる。</p> <p>②選択したテーマについて、先行文献を読み、自分の考えをレポートにまとめることができる。</p> <p>③社会で必要とされる言語能力の基礎を着実に身につける。</p> <p>④日本語運用能力の基礎として漢字の読み・書き、敬語の用法などに熟達する。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
①多方面の評論的文章を正確に読解する方法を理解することができる。	多方面の評論的文章を正確に読解する方法を理解することができる。	評論的文章を読解する方法を理解することができる。	評論的文章を正確に読解する方法を理解できない。		
②選択したテーマについて、先行文献を読み、自分の考えをレポートにまとめることができる。	選択したテーマについて、先行文献を読み、自分の考えをレポートにまとめることができる。	選択したテーマについて、自分の考えをレポートにまとめることができる。	選択したテーマについて、自分の考えをレポートにまとめることができない。		
③社会で必要とされる言語能力の基礎を着実に身につける。	社会で必要とされる言語能力の基礎を着実に身につけることができる。	社会で必要とされる言語能力の基礎を身につける。	社会で必要とされる言語能力の基礎を身につけられない。		
④日本語運用能力の基礎として漢字の読み書き、敬語の用法などに熟達する。	日本語運用能力の基礎として漢字の読み書き、敬語の用法などに熟達する。	日本語運用能力の基礎として漢字の読み書き、敬語の用法などを身につける。	日本語運用能力の基礎として漢字の読み書き、敬語の用法などを身につけられない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	日本語で表現された様々な文章を通して、基本的な日本語読解能力を身に着ける。また、学習した表現方法を駆使しながら、自ら文章によって表現する能力を高める。さらに、日本語運用に関わる基礎的な知識を養う。				
授業の進め方・方法	上記教科書および適宜配布するプリントを用いて、多岐にわたる言語表現の精緻な読解を行う。また、日本語運用に関わる演習を行う。 毎時、ワークブックの小テストを実施するので、事前に指定された範囲について予習をしておくこと。 各授業で取り上げた内容について、授業後論点を整理しておくこと。				
注意点	授業への質問や要望は、メール・来室問わず随時受け付けます。 日本語で表現された様々な種類の文章を読解し自らの考えや読みを表現することで、日本語運用能力を高めるとともに、言語表現を味わい、自分の世界を拡げて行ってください。また、漢字や敬語の基礎的な知識を高め、社会人としての地盤を固めるべく、有意義な時間にしてください。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 国語力検定試験	日本語力について、現在の実力を把握する。	
		2週	国語力の自己点検	同上	
		3週	テーマ①言葉の意味	評論を読解し、内容を把握する。	
		4週	同上	同上	
		5週	文章表現の基礎	文章表現の基礎を学ぶ。	
		6週	同上	同上	
		7週	同上	同上	
		8週	[前期中間試験]		
	2ndQ	9週	テーマ②目的と手段	評論を読解し、内容を把握する。	
		10週	論理的文章の基礎	論理的文章の基礎を学ぶ。	
		11週	同上	同上	
		12週	同上	同上	
		13週	同上	同上	
		14週	同上	同上	
		15週	同上	同上	
		16週	[前期末試験]		
後期	3rdQ	1週	論理的文章の基礎	論理的文章の基礎を学ぶ。	
		2週	同上	同上	
		3週	同上	同上	
		4週	同上	同上	
		5週	同上	同上	
		6週	テーマ③夢の語り方	評論を読解し、内容を把握する。	
		7週	同上	同上	
		8週	[後期中間試験]		
	4thQ	9週	実践的国語表現	実践的国語表現を学ぶ。	

	10週	同上	同上
	11週	同上	同上
	12週	同上	同上
	13週	同上	同上
	14週	同上	同上
	15週	同上	同上
	16週	[学年末試験]	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	前2,前4,前9,前11,後5
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	前2,前4,前9,前11,後5
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	前6,前13,後1,後3,後9,後10,後11,後12
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前1,前15,後7,後15
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	前1,前15,後7,後15
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	前1,前15,後7,後15
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	前1,前15,後7,後15
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	前15
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	前15
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	前15
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14
新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14				
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前2,前4,前6,前9,前11,前13,後1,後3,後5,後9,後10,後11,後12,後13
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	前3,前5,前7,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後13,後14

專門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0